

# 白山紀行

—ふくいからの参詣記録



福井県文書館 読覧室展示  
2006 Annual Renewal

白山は、古くからこれを仰ぎみる広範な地域の人びとの信仰の対象とされ、越前・加賀・美濃からそれぞれ修行のための登山路(禅定道)が開かれました。これを支える中心となったのは白山麓の人びとです。かれらは時には対立しながらも政治的な支配領域をこえて密接なつながりをもっていました。

江戸時代半ばを過ぎると、白山とその周囲は、一般の人びとの参詣や湯治のための場ともなっています。泰澄が開いたと伝えられる平泉寺から市ノ瀬にいたる越前禅定道は、その行程の険しさからかむしろ避けられ、勝山から北谷を通り、谷峠や小原峠を越えて市ノ瀬の温泉、白山山頂にいたる道が利用されました。ここではこうした白山への参詣登山の広がりやなか、1830年代に相次いで書かれた福井藩士の紀行を紹介します。



『方言修行金草鞋』第19編白山参詣より  
国文学研究資料館所蔵

## ふくいからの主な白山参詣記録

- 井上翼章(福井藩士)「越前国名蹟考」1815年(文化12) 松平文庫 福井県立図書館保管
- 加賀成教(福井藩士)「白山全上記」1830年(文政13) 西尾市岩瀬文庫所蔵 X0015-00049
- 白玉呉竹斎光美(武沢光美、福井藩士)「白山道の栞」1831年(天保2) 国立国会図書館所蔵
- 高田保浄(福井藩士)「続白山紀行」1833年(天保4) 国文学研究資料館所蔵 X0145-00001, 00002
- 同上「続白山紀行」1833年(天保4) 山内秋郎家文書 福井県文書館所蔵 X0142-00297
- (鰐淵三九郎)「白山参道日記」1835年(天保6) 高椋節夫家文書 福井県文書館複製所蔵 C0027-00226-002
- 勝山千百里「白山紀行」1888年(明治21) 『福井新報』1888年8月6-9日、11日、14日、15日、17日、18日

## 福井県文書館

〒918-8113 福井県福井市下馬51-11  
Tel: 0776 (33) 8890 Fax: 0776 (33) 8891

- 開館時間 午前9時～午後5時まで  
(閲覧申込は4時30分まで)
- 休館日 月曜日(国民の祝日は除く)  
国民の祝日の翌日(土、日、祝日は除く)  
清掃整理日(12月以外の第4木曜日・祝日の場合翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
文書等点検期間(年間10日以内)

